

花粉症クライシス



は口ほどに...
No. 44

アレルギーは免疫応答の結果、体に生じる炎症の反応です。免疫そのものは体に必要な防衛能力ですが、過剰に働いてしまふと有害です。

アレルギーの原因になる抗原は様々で、環境因子と呼ばれます。花粉や

黄砂、PM2.5は代表的ですが、折りしも花粉の飛散が本格化する時期、体の免疫応答が活性化し、アレルギー疾患が起こりやすくなっています。寒い季節で皮膚が乾燥してバリア機能が弱くなっていることも一因です。

最近の花粉症では、症状がわかりやすい結膜炎

や鼻炎の他、皮膚に付着する花粉でアレルギーを

起こす患者さんが増えています。乾燥した目の周りの皮膚は刺激に脆くて

痒みを感じやすく、擦ればバリアがすぐ壊れて、

感作を繰り返して痒みが次第につよくなります。

抗アレルギー点眼薬には目を擦らないよう、痒みを抑え、痒みを感じる

受容体の活性化も同時に抑えるものがあります

が、点眼薬のみで目の周りの皮膚の痒みまで全て

抑えるのは困難です。皮膚は表面積が大き

く、花粉に感作されるとアレルギーが起こりやす

いので、バリアを強化す

るために保湿剤を塗り、スキンケアを行います。

さらに花粉は数々のアレルギー交叉反応を起

すことがわかりました。花粉抗原は、花粉が受粉

して出来た果実、野菜に存在する抗原蛋白と似て

います。つまり、花粉症で免疫が活性化した状態で、果実を食べると目が

腫れるという交叉反応が成立するのです(表)。

花粉症と交叉反応が起こる果物・野菜(報告があったもの)

花粉症も自覚症状が少な

ければ放置する人が多いなか、厄介な時代になりました。私は眼科医で

すが、まずスキンケアを優先して欲しいと思いま

す。(院長・伊田 宣史)

花粉症と交叉反応が起こる果物・野菜(報告があったもの)

スギ花粉

カバノキ・ハンキ ●リンゴ・モモ・サランボ・ナシ

イチゴ・セロリンゴ・キンキウイ・ジャガイモ・マンゴー

ヨモギ・ブツサ(キク科) ●セロリンゴ・ニンジン・マンゴー

キウイ・メロン・スイカ・キュウリ・バナ

カモガヤ(イネ科) ●メロン

スイカ・ジャガイモ・トマト

オオワカゲ(イネ科) ●キウイ・オレンジ・セロリ

バナ

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

【休診日】木・土 曜午後
日 曜、祝日

TEL 079-556-8600



伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	△	△	△
18:30							

三田市武庫が丘7-7-4 エムズビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

